

日本中東学会第32回年次大会・最終プログラム

1日目：2016年5月14日（土）

13:00-17:00【公開シンポジウム】（西校舎517教室）

インド洋海域史研究の現在

・概要

中東は三つの大陸の結節点であるだけでなく、歴史的に重要な二つの海域世界—地中海とインド洋—が会う場所でもあった。そのため海域からの視点も含めて地域を総合的にとらえることは、中東研究の深化にとって不可欠である。本公開シンポジウムは、陸域と同じ重要性を持つ海域、特にインド洋海域から中東を見据えることを目的とする。半世紀にわたって日本のインド洋海域史研究を先導されてきた家島彦一氏の講演を主軸に、多様な視座からの最新報告を交えながら、当該研究の「現在」を見定めたい。

・主催：日本中東学会、共催：慶應義塾大学言語文化研究所

・スケジュール

13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明 司会：新井和広（慶應義塾大学）

13:10-14:00 基調講演

家島彦一（東京外国語大学）「インド洋海域史研究の道を歩んで」

14:00-15:20 報告

上田信（立教大学）

栗山保之（東洋大学）

鈴木英明（長崎大学）

弘末雅士（立教大学）

*50音順

15:20-15:40 休憩

15:40-16:50 パネルディスカッション・質疑応答

16:50-17:00 閉会挨拶

17:15-18:15 日本中東学会総会（会員のみ）

18:30-20:30 懇親会（於 南校舎4F ザ・カフェテリア）

2日目：2016年5月15日（日）

*凡例：所属表記中の「院」は大学院生を意味する。

【企画セッション】

12:40-14:40 **企画セッション 1** (南校舎 433 教室)

Reimagining the Politics of the Gulf Monarchies in the 21st Century

Matthew GRAY (The Australian National University)

“Situating the Debate: The Case for a Reimagination of the Gulf’s Politics”

TSUJIGAMI Namie (The University of Tokyo)

“A Strategy of Surviving Patriarchy: Women’s Family Network”

Sean FOLEY (Middle Tennessee State University)

“To Think outside the Box: How Saudi Women Use a Conservative Culture to Transform the Kingdom's Online World”

Chair: HOSAKA Shuji (The Institute of Energy Economics, Japan)

12:40-14:40 **企画セッション 2** (南校舎 412 教室)

現代ムスリム社会における宗教権威：ウラマーとイスラーム主義者を事例として

高尾賢一郎 (日本学術振興会)

「サウジアラビアに見る職業としての『ウラマー』：ワッハーブ主義におけるその役割」

後藤絵美 (東京大学)

「現代ムスリム社会における知識と権威：エジプトの『サラフ主義者』を事例として」

コメンテーター: 松永泰行 (東京外国語大学)

司会: 長沢栄治 (東京大学)

12:40-14:40 **企画セッション 3** (南校舎 422 教室)

非母語話者に対するアラビア語教育と評価：アラブ地域と日本における事例から

近藤久美子 (大阪大学)

「非母語話者のアラビア語習得：母語の相違の観点から」

榮谷温子 (慶應義塾大学)

「アラブおよびイスラーム系施設のアラビア語講座の特色」

宮川光國 (独立研究者)

「アラビア語検定を通して見る日本におけるアラビア語学習評価」

【個人研究発表】

第 1 部会 (南校舎 433 教室)

9:00～9:40 井堂有子 (東京大学・院)

「エジプトの食料補助金制度改革と食料安全保障：小麦流通問題に着目して」

9:45～10:25 西舘康平 (東京外国語大学・院)

「GERD 原則宣言をめぐるナイル川流域の水政治」

10:30～11:10 齋藤秋生子（上智大学・院）

「カッザーフィー政権リビアにおける部族政策とその変容」

11:15～11:55 山本沙希（お茶の水女子大学・院）

「女性零細事業主・在宅労働者の商実践と世帯：現代アルジェリアの首都アルジェを事例として」

14:50～15:30 今井真士（文教大学）

「権威主義体制下の二元二首執政制とエジプト第三共和政の政党政治：大統領職の憲法的権限の変遷と 2015 年代議院選挙前後の党派的権力の展開」

15:35～16:15 河村有介（ダラム大学・院）

「権威主義体制下における組織労働と政権：エジプトとメキシコの比較分析」

16:20～17:00 黒田彩加（京都大学・院）

「屹立するイスラーム中道派の主張：世俗派と過激派のあいだで」

第 2 部会（南校舎 435 教室）

9:45～10:25 今井宏平（アジア経済研究所）

「トルコの国境管理政策：シリア国境とギリシャ国境での活動を中心に」

10:30～11:10 李若菲（慶應義塾大学・院）

「交易ディアスポラと社会価値送金（Social Remittances）の社会影響：レバノンの例から」

11:15～11:55 成地草太（明治大学・院）

「クリミア戦争（1853～56 年）後、オスマン帝国の難民定住政策における「義捐金・物資（iane）」：難民委員会による徴収と配分の構造」

14:50～15:30 山本健介（京都大学・院）

「エルサレムにおける聖地問題の史的展開と現代の変容：イスラエル領内のイスラーム運動の活動を中心に」

15:35～16:15 小林和香子（独立研究者）

「イスラエル人女性による平和構築活動の現状」

16:20～17:00 堀尾藍（国際交流基金）

「パレスチナにおける初等教育の現状と課題：UNRWA による支援に対する一考察」

第 3 部会（南校舎 422 教室）

9:00～9:40 Scott MORRISON（Middlesex University）

“Quantifying the Legal Content of *Qur'an* and *Hadith*”

9:45～10:25 KIM Suwan（KAMES／Hankuk University of Foreign Studies）

“Emerging Arab Inbound Tourism Market to Korea and its Challenges”

10:30～11:10 JIANG Xudong（Keio University）

“China's Role, Progress and Limitation in the Reconstruction of Iraq”

11:15～11:55 Khalil DAHBI（Tokyo University of Foreign Studies, J）

“The Evolution of Political Oppositions in Tunisia and Morocco: A Field-level Comparative Historical Analysis”

14:50～15:30 Qolamreza NASSR (Hiroshima University, J)

“Shi’a Islam and Democracy: Linkage and New Development before and after Iranian Revolution of 1979”

15:35～16:15 SUZUKI Takahiro (Doshisha University, J)

“Homeland'-segregation Assemblage: Nation-state in Form, Colonialism in Content”

16:20～17:00 ABE Satoshi (Nagasaki University)

“An Examination of Roles of Islam in Iranian Environmental Politics”

第 4 部会 (南校舎 415 教室)

9:45～10:25 宮下遼 (大阪大学)

「16 世紀オスマン詩におけるトルコ語語彙の地位：簡明トルコ語派詩人を中心に」

10:30～11:10 岡崎弘樹 (パリ第 3 大学・院)

「現代シリアにおける監獄経験の表象」

11:15～11:55 天野優 (同志社大学・院)

「サミー・ミハエルの作品にみるファルフード：20 世紀イラクにおけるユダヤ人のアイデンティティに焦点を当てて」

14:50～15:30 穂山祐子 (一橋大学・院)

「トルコ共和国における新字の導入：普及をめぐる施策と実態」

15:35～16:15 竹田敏之 (京都大学)

「湾岸アラブ諸国におけるプリントメディアの発展とアラビア語意識の変容」

16:20～17:00 勝畑冬実 (東京外国語大学)

「エジプト映画における『イスラーム主義』の表象：「テロリスト (1994)」以前の作品分析から」

第 5 部会 (南校舎 436 教室)

9:00～9:40 近藤重人 (日本エネルギー経済研究所)

「サウディアラビアと中東和平提案」

9:45～10:25 渡邊駿 (京都大学・院)

「アラブ・湾岸君主制：ハイブリッド性を解析するための視座をめぐって」

10:30～11:10 白谷望 (上智大学)

「モロッコにおける伝統行事の政治的『制度化』：バイアの儀礼と国王の『フトバ』の分析から」

11:15～11:55 池端露子 (京都大学・院)

「スンナ派国家としてのヨルダンとその宗派・宗教和合戦略」

14:50～15:30 岡野内正 (法政大学)

「中東研究の質的変容に向けて：板垣雄三氏の問題提起をめぐって」

15:35～16:15 須永恵美子 (京都大学)

「マウドゥーディーの経済観：雑誌『クルアーンの解釈者』に寄せた論稿を中心に」

16:20～17:00 荒井悠太 (早稲田大学・院)

「歴史叙述におけるアサビーヤ：イブン・ハルドゥーン著『実例』の分析」

第 6 部会 (南校舎 412 教室)

9:00～9:40 近藤信彰 (東京外国語大学)

「19 世紀後半テヘランの宗教的少数派：シャリーア法廷記録より」

9:45～10:25 後藤裕加子 (関西学院大学)

「サファヴィー朝初期の首都タブリーズの王宮地区」

10:30～11:10 青木健太 (お茶の水女子大学)

「イスラーム国ホラーサーン州出現の背景：属州設置の思惑とターリバーンとの関係を中心に」

11:15～11:55 梶山卓哉 (龍谷大学・院)

「英国外交文書から見たイスラーム革命直後のイラン」

14:50～15:30 上原健太郎 (京都大学・院)

「マレーシアにおけるイスラーム型担保融資の実態と比較優位：クランタン州における顧客調査から」

15:35～16:15 川村藍 (京都大学)

「イスラーム金融の民事紛争処理制度としてのドバイ・アプローチとマレーシア・モデル」

16:20～17:00 安田慎 (帝京大学)

「宗教観光におけるアントレプレナーシップをめぐる一試論：インド・ムンバイのイスラーム旅行会社 S を事例に」

第 7 部会 (南校舎 413 教室)

9:00～9:40 鷲見朗子 (京都ノートルダム女子大学)

『百一夜物語』の写本」

9:45～10:25 苗村卓哉（慶應義塾大学）

「ヒジュラ暦9-11世紀東アラブ世界におけるアルド：名士伝記集の数量的分析から」

10:30～11:10 野口舞子（お茶の水女子大学・院）

「12世紀前半マグリブ・アンダルスにおける法学者のネットワーク：カーディー・イヤードを中心に」

11:15～11:55 ハシャン・アンマール（京都大学・院）

「イスラームにおけるハムル（醱酎飲料）の禁止：古典資料を用いた立法過程再構成の試み」

14:50～15:30 奥美穂子（明治大学）

『王の祝祭』から近代国家祝典へ：オスマン帝国における王権祝祭の契機と変容」

15:35～16:15 近藤文哉（上智大学・院）

『19世紀』エジプトのマウリドに対するイギリス人の観察と記述：ダウサを分析の中心として」

16:20～17:00 竹村和朗（東京外国語大学）

「苗農場で働く：現代エジプトの沙漠開拓地における農業実践の一事例として」

第8部会（南校舎414教室）

9:45～10:25 矢久保典良（千葉商科大学）

「日中戦争後期、中国穆斯林団体の憲政論議と「戦後構想」：1943年以降の言説を事例に」

10:30～11:10 役重善洋（大阪市立大学）

「日中戦争下における日本軍の宗教工作とシオニズム運動」

11:15～11:55 スールラー・サット（アンカラ大学・院）

「トルコ学術界における井筒俊彦の位置づけ：評価と批判」